

第2回 豊中市交通バリアフリー推進協議会 議事録 概要版

日 時：平成20年12月22日（月）

14:00～16:00

場 所：福社会館 3階 集会室

1．これまでの経過

これまでの経緯について説明を行った。

2．事業実施状況

各地区の事業実施状況について説明を行った。

3．その他

チェックシステム、内閣府特命担当大臣表彰の紹介。

桃山台駅の事業について、どういう点で苦勞されたのか。

事業箇所が、吹田市・豊中市に跨っているため、協議相手が多岐にわたっていることが苦勞した点。また、今回、既存の改札口にエレベーター、エスカレーターをつくるのは、新御堂筋に挟まれた空間の中で難しいため、新しい改札口を設ける検討を行った。

バリアフリーのために、大規模な新駅をつくるのは、全国的にも珍しいのではないか。

基本構想は吹田市と豊中市が協同で策定したが、桃山台駅が吹田市域に入っているため、吹田市が中心となって北急と協議した。構想ができてから、実際に北急が新御堂筋を管理する茨木土木、警察、豊中市、吹田市と協議を進めた。

当初は府道の橋梁に面して平面的に駅舎をつくるという形で検討を進めていたが、交通管理者等と協議を進めていく中で、新御堂筋横断の安全確保ができないという指摘があり、立体交差で横断するという案が出てきた。この案においても南北の横断が残り、この横断を避けるべく既存の歩道橋との接続を豊中市が道路事業としてやっていくことで、国土交通省と協議に入ったという経緯がある。桃山台駅は吹田市側の事業だったが、駅舎に含むエレベーターが豊中市域に入ってきたことで、豊中市も駅舎のバリアフリー事業に参加することになった。色々問題があったが、ようやくここまでこぎつけた。

北急、阪急の両者へのお願いになるが、どんな工事をしているのか、小学生が見てもわかるような説明パネルを作って、市民に分からせるということが大事かと思う。

上野新田線の側溝に蓋を入れる予定があるのか。

市内には延長が相当あるため全部蓋かけするには相当な費用がかかる。維持管理

面でもいざという時に蓋がとれないという問題もあるので、歩道幅員が2m以上あればそのままとしている。特殊な事情があれば蓋かけをするが、全部実施するというにはならない。

視覚障害者の方は誘導ブロック上を歩くのではなく、ブロックを白杖で探りながら側溝とブロックの間を歩く方もいるので、少しずつでも蓋をかけていけば、より安全かと思う。将来的には考えて頂ければいいのではないか。

全体的に事業進捗の説明資料はあるが、構想の工程と実施の工程がどうなっているのかが、わかる資料も作って頂けると一番いい。

市民の目線でどういうことが行われているかをフォローしていくことが必要である。基本構想事業の進捗がどうなっているのかを把握するようにしないといけない。スパイラルアップをどうしたらいいかということを考えないといけない。

また、心のバリアフリーに関するソフト関係も取り組まないといけないと思う。

その辺りは、次回検討したい。事務局は、各事業者に調査票を送り、基本構想の全ての事業進捗状況を調査した資料は持っている。協議会の資料として出すと見にくいので、主要な事業だけを抜粋した。残っている事業について、計画未定と書いている事業者もいるが、次回以降はそういうことがないようにお願いしたい。大阪府では現在福祉のまちづくり条例の改訂作業を行っている。大きな改正点として、エレベーターに関して、不特定多数が使う500㎡以上の建築物は設置義務が生じるようになる。オストメイトトイレも、200㎡以上、ものによっては延べ床面積の規定なしに作らないといけない厳しい条例になる。そういう観点で、建築物のバリアフリー化状況をチェックして、基本構想の見直し・変更して頂ければと思う。

千里中央駅地区では、周辺の民間建築物も含めてバリアフリー化の整備を行っており、豊中駅についても民間開発に協力をお願いする方向で進んでいる。周辺の施設にも、別途指導またはお願いしているので、構想そのものを見直す必要はないと思っている。

基本構想の追加である。建築物と公園に関して既存不適格の箇所に関する改善計画を立てる基本構想を作らなければいけない。条例で相当細かい建築物も義務化は徹底されたつもりであるが、まだ市民ニーズはあると思うのでパブリックコメントで意見を出して頂ければありがたい。新法の基本構想は、大型の公共的な建築物としか定義していないが、条例における中小建築物も含めた改善計画も基本構想の中で可能な限り取り組んで頂かないといけない。だから安易な取り組みで出来ないのは確かである。この協議会の体制でやれるのかという問題も基本的にはある。そこをよく庁内全体で検討して頂きたい。

今日の報告内容を、わかりやすく市民に向けて発信することを検討して頂きたい。次回は来年の秋頃開催予定。

以上